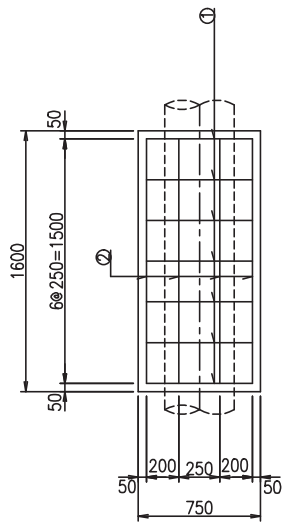
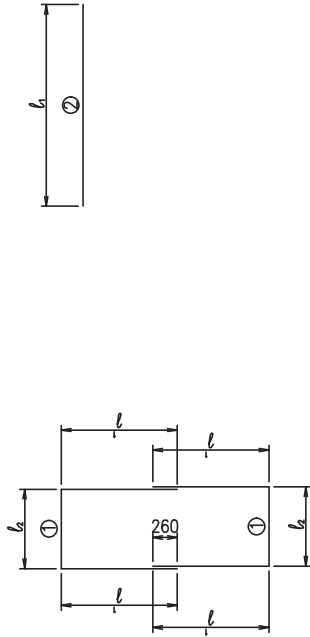


## IV 異形管（垂直曲管）防護標準図集

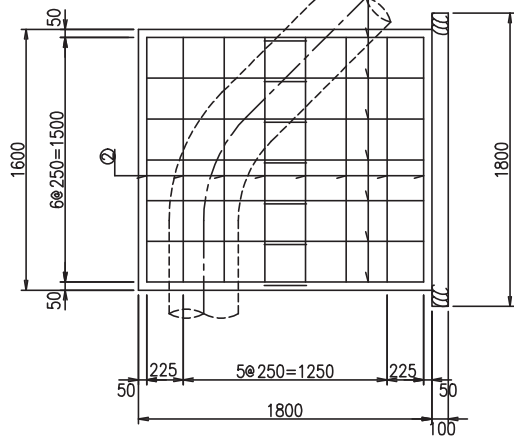
平面図



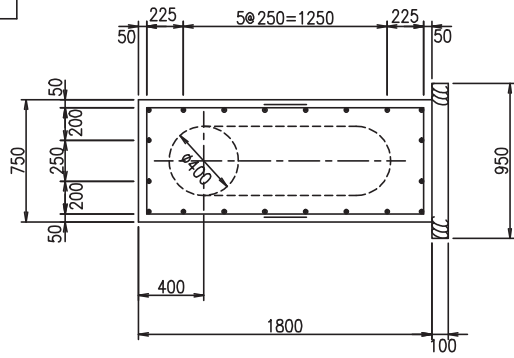
配筋加工図



側面図



断面図

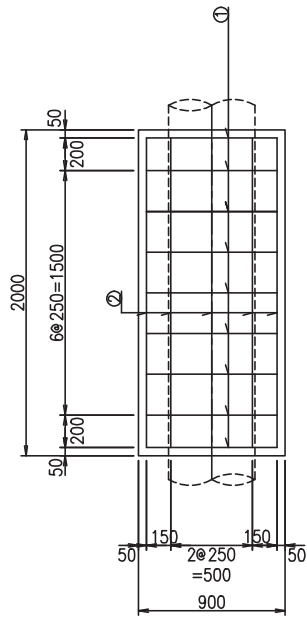


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	980	650		2,610	14	36,540	
②	D13	1,500			1,500	20	30,000	
ΣL= 66,540 mm							ΣW=	66 kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )								1.87
砕石面積 (m <sup>2</sup> )								1.71
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								8.16

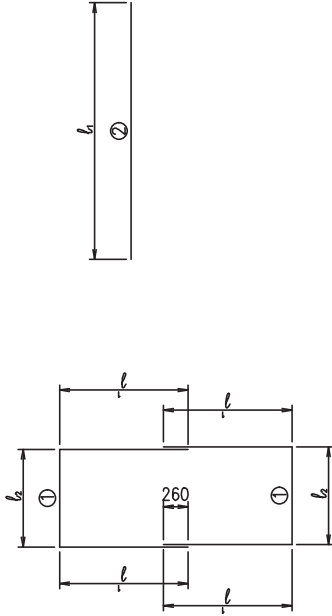
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。  
 2. 地盤が不均等で、十分な抵抗力が期待できないときは、基礎杭等による不固低下対策を講ずること。

45° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ400 (単位:mm)

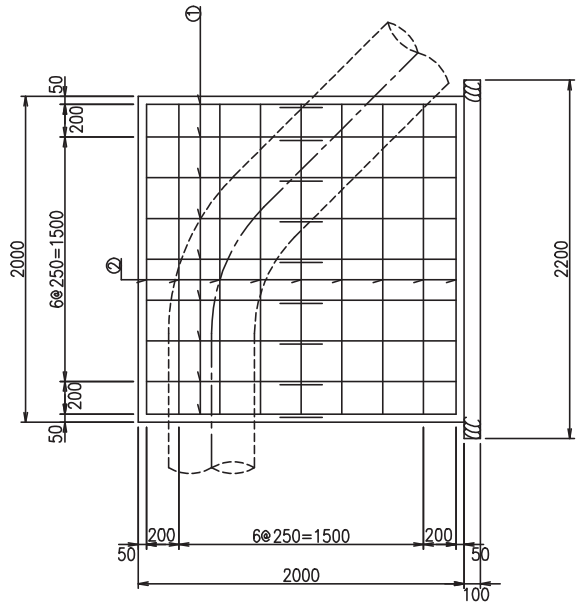
平面図



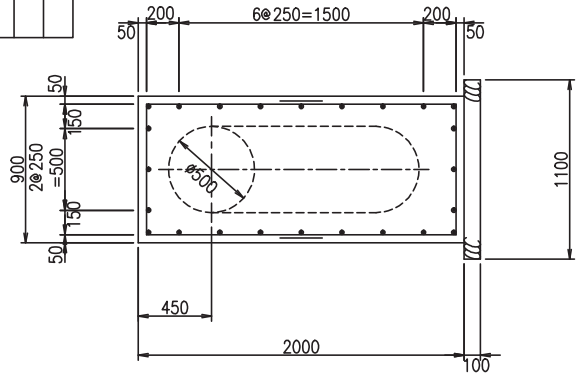
配筋加工図



側面図



断面図

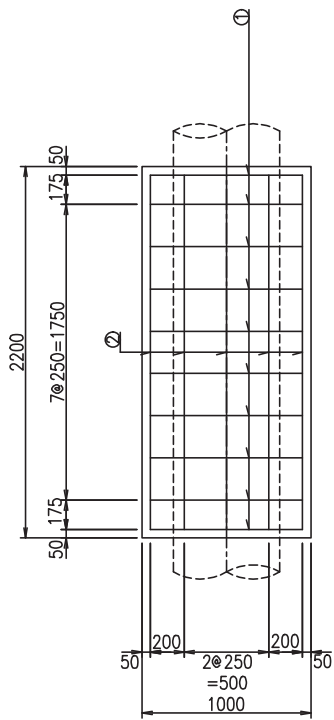


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	1,080	800		2,960	18	53,280	
②	D13	1,900			1,900	24	45,600	
ΣL= 98,880 mm							ΣW=	98 kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )								3.07
砕石面積 (m <sup>2</sup> )								2.42
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								11.16

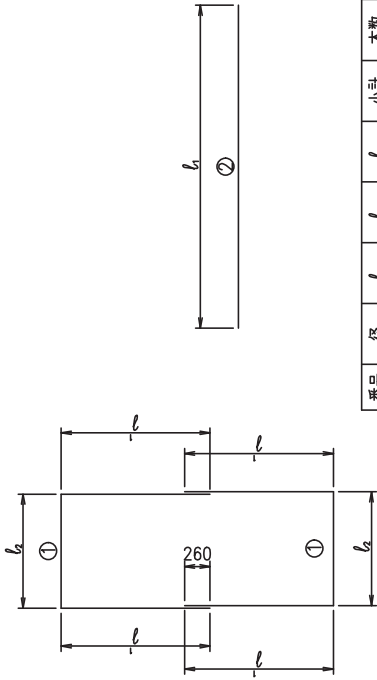
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に圧すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不固沈下対策を講じること。

45° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ500 (単位:mm)

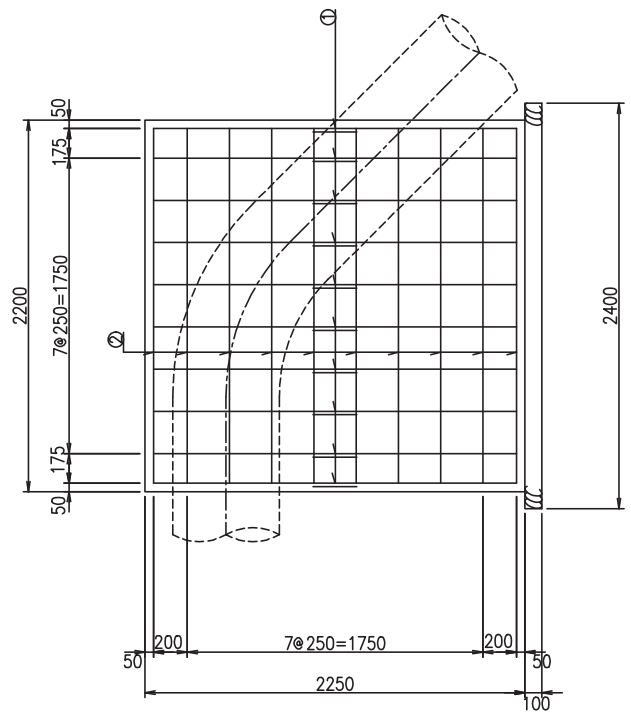
平面図



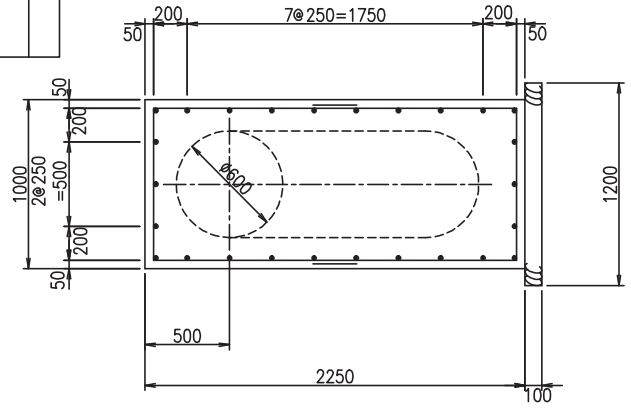
配筋加工図



側面図



断面図

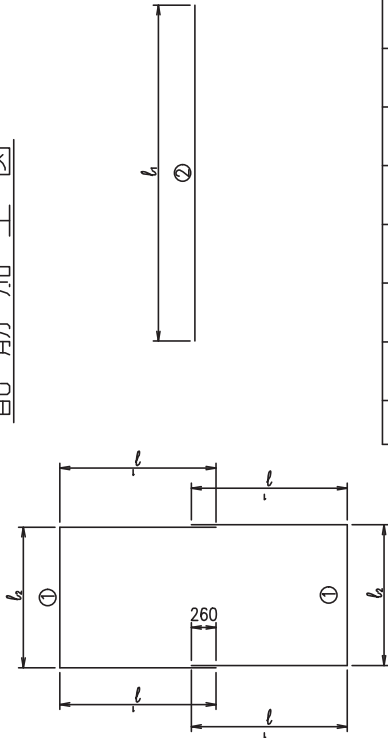


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	1,205	900		3,310	20	66,200	
②	D13	2,100			2,100	26	54,600	
ΣL= 120,800 mm							ΣW=	120 kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )								4.13
砕石面積 (m <sup>2</sup> )								2.88
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								13.78

(注) 1. 砕石は敷き出し後、十分に密圧すること。  
 2. 地震が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

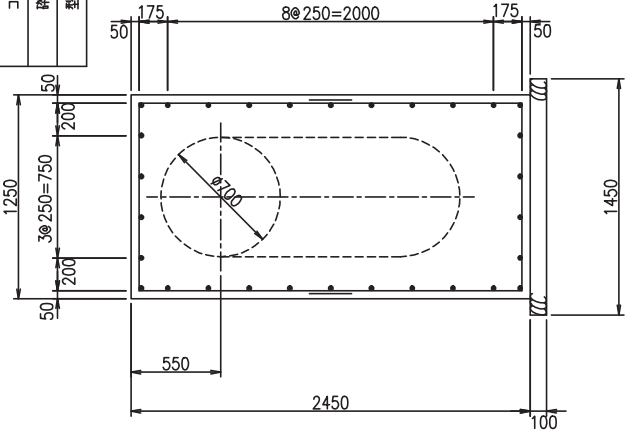
45° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ 600 (単位:mm)

配筋加工図



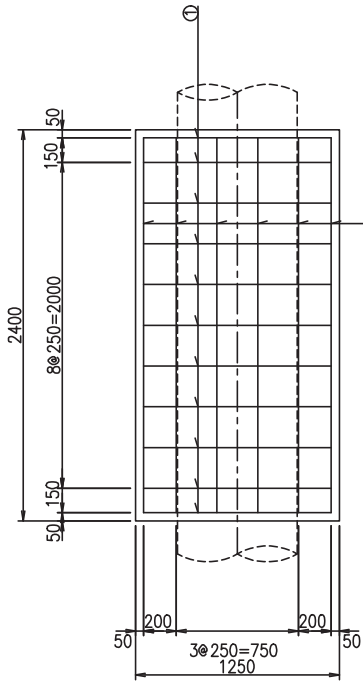
番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	1,305	1,150		3,760	22	82,720	
②	D13	2,300			2,300	30	69,000	
ΣL= 151,720 mm							ΣW=	151kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )							6.13	
砕石面積 (m <sup>2</sup> )							3.77	
型枠面積 (m <sup>2</sup> )							17.05	

断面図

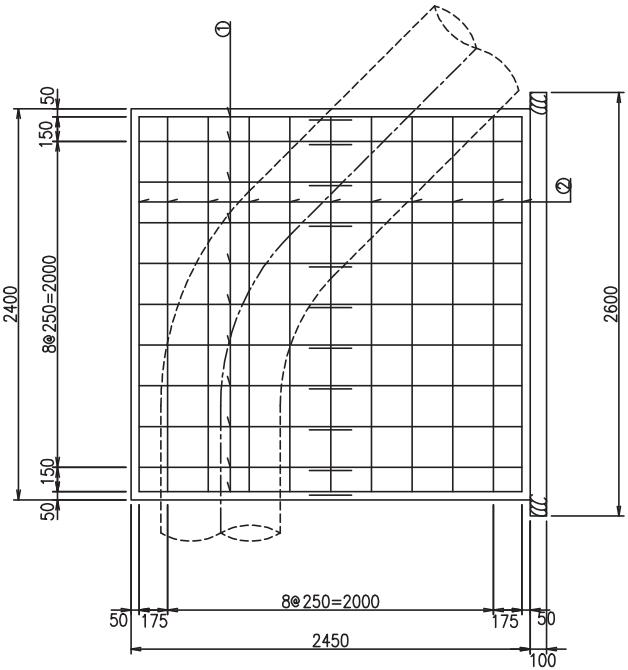


(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に密圧すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎筋等による不同沈下対策を講ずること。

平面図

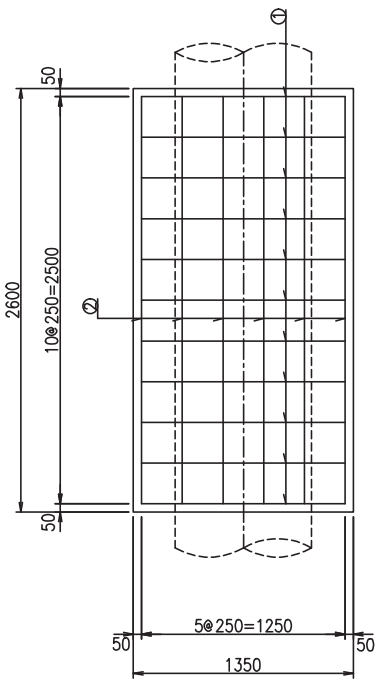


側面図

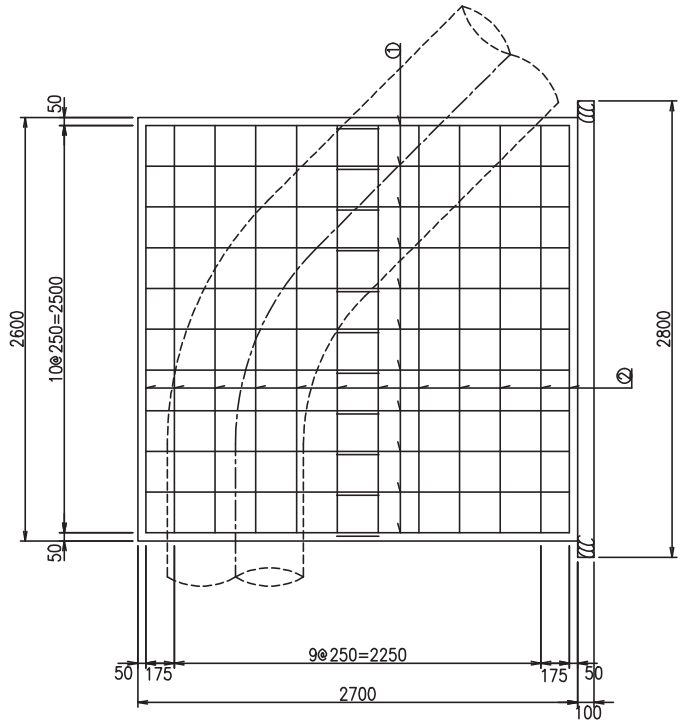


45° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ700 (単位:mm)

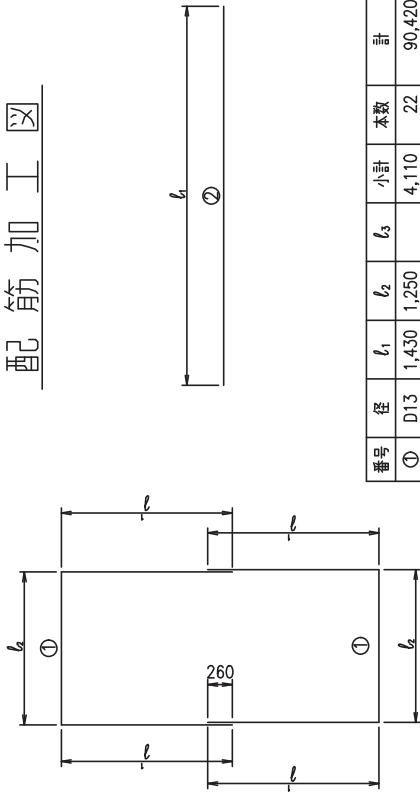
平面図



側面図

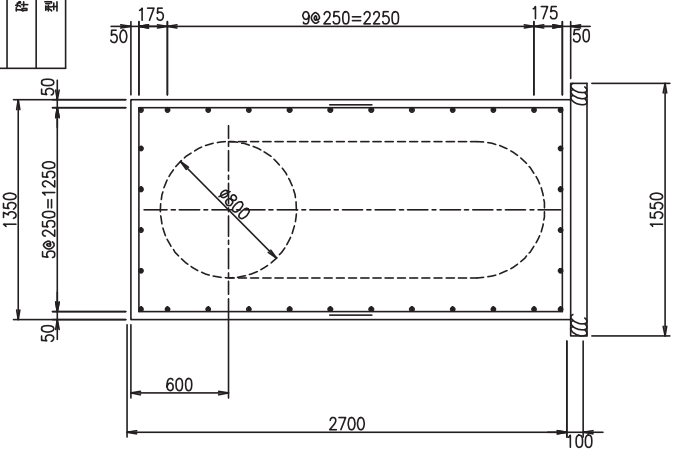


配筋加工図



番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	1,430	1,250		4,110	22	90,420	
②	D13	2,500			2,500	32	80,000	
ΣL=170,420 mm							ΣW=	170 kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )								7.75
砕石面積 (m <sup>2</sup> )								4.34
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								20.23

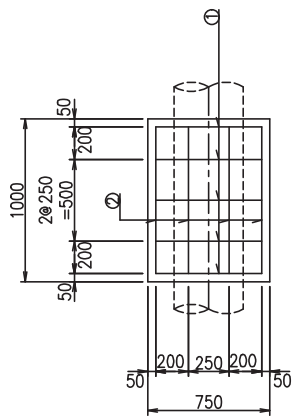
断面図



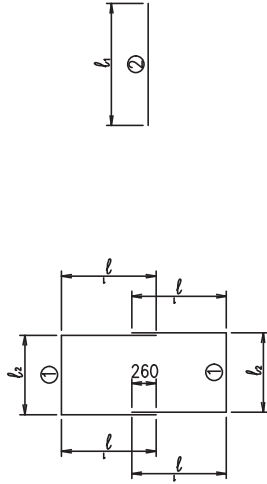
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に振圧すること。  
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎形状による不同沈下対策を講じること。

45° 垂直上向曲管  
保護コンクリート  
φ800 (単位:mm)

平面図

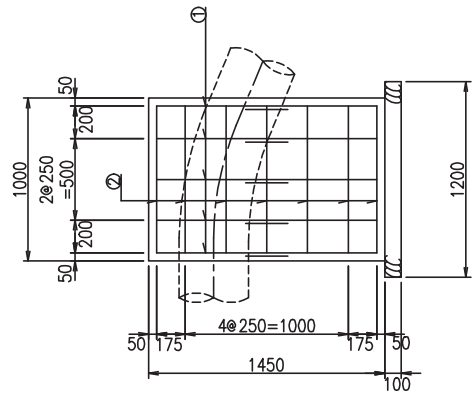


配筋加工図

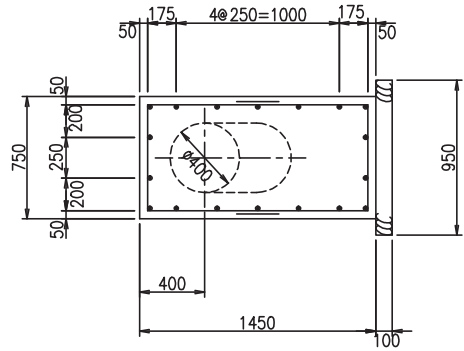


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	805	650		2,260	10	22,600
②	D13	900			900	18	16,200
ΣL= 38,800 mm					ΣW=	39 kg	
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )						0.93	
砕石面積 (m <sup>2</sup> )						1.14	
型枠面積 (m <sup>2</sup> )						4.78	

側面図



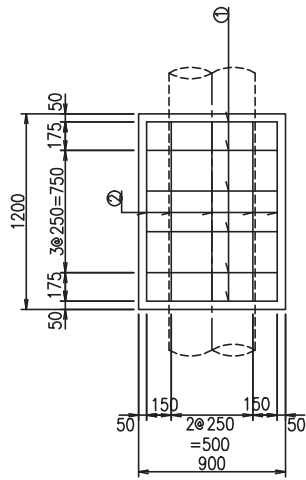
断面図



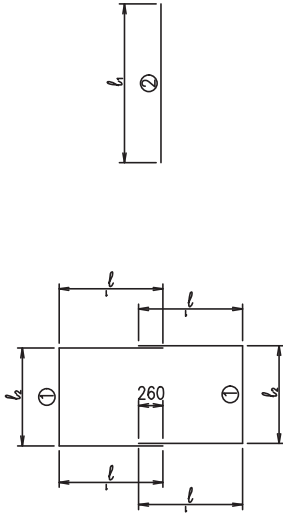
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に密圧すること。  
2. 地盤が不良等で、十分な耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

22 1/2° 垂直上向曲管  
保護コンクリート  
φ400 (単位:mm)

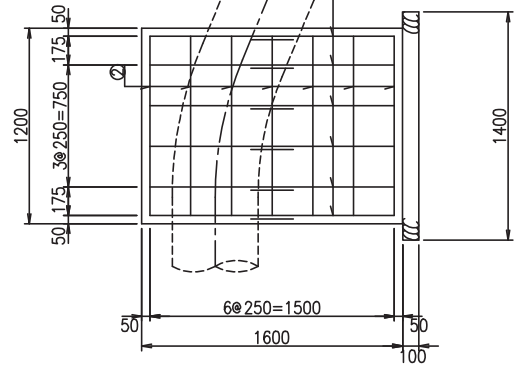
平面図



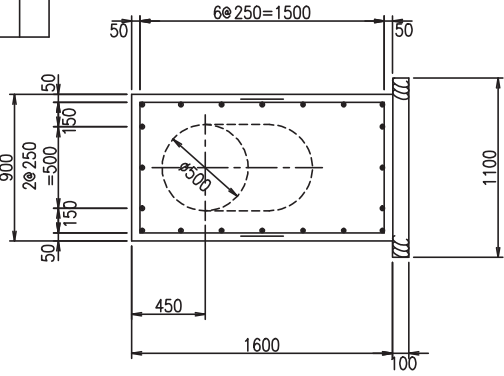
配筋加工図



側面図



断面図



番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	880	800		2,560	12	30,720	
②	D13	1,100			1,100	20	22,000	
ΣL = 52,720 mm							ΣW =	52 kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )								1.45
砕石面積 (m <sup>2</sup> )								1.54
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								6.28

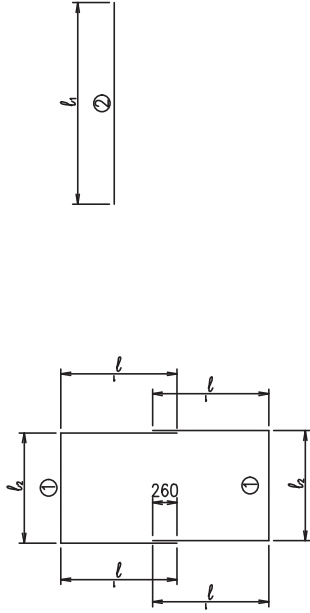
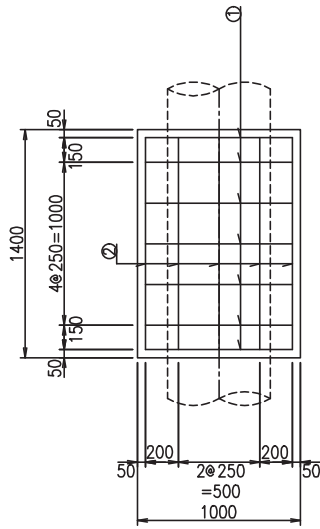
(注) 1. 砕石は置き均し兼、十分に転圧すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

22 1/2° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ500 (単位:mm)



配筋加工図

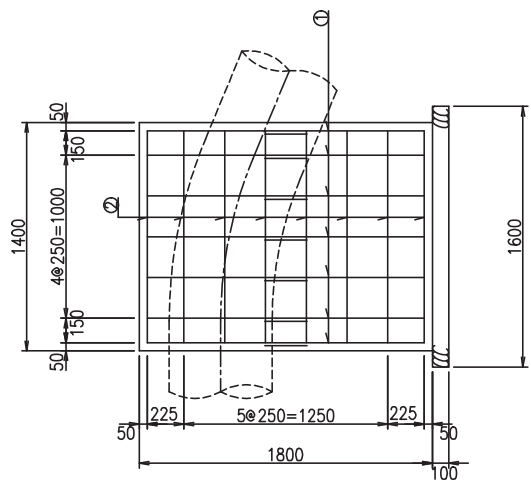
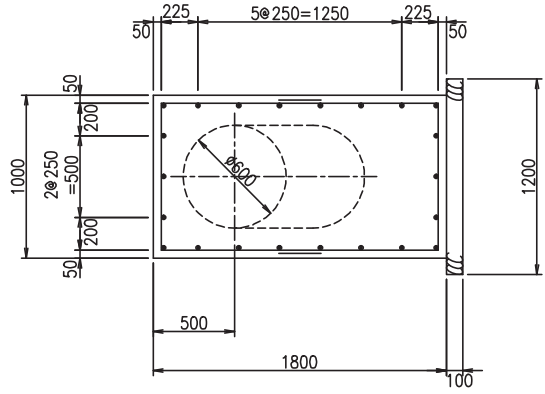
平面図



番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	980	900		2,860	14	40,040	
②	D13	1,300			1,300	22	28,600	
ΣL= 68,640 mm							ΣW=	68 kg
コンクリート体積 (m³)								2.07
砕石面積 (m²)								1.92
型枠面積 (m²)								8.02

断面図

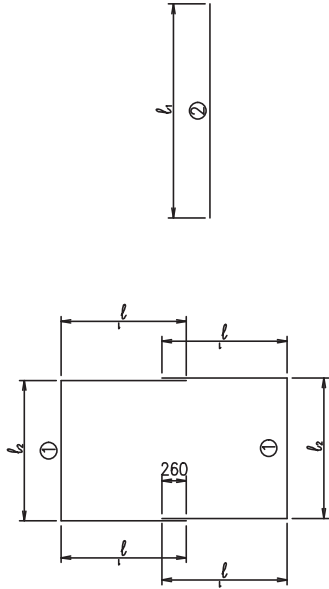
側面図



- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

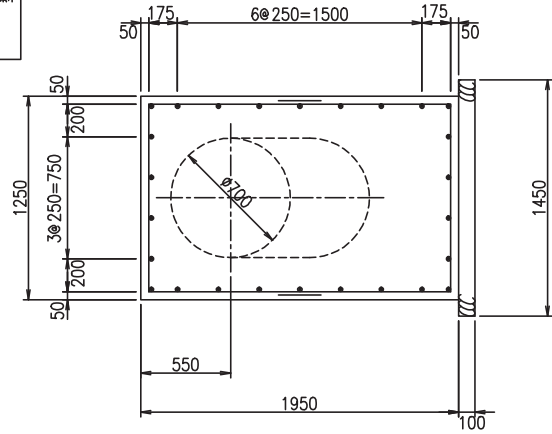
22 1/2° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ 600 (単位:mm)

配筋加工図



番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	1,055	1,150		3,260	14	45,640	
②	D13	1,400			1,400	26	36,400	
ΣL= 82,040 mm							ΣW=	82 kg
コンクリート容積 (m <sup>3</sup> )								3.00
砕石面積 (m <sup>2</sup> )								2.47
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								9.89

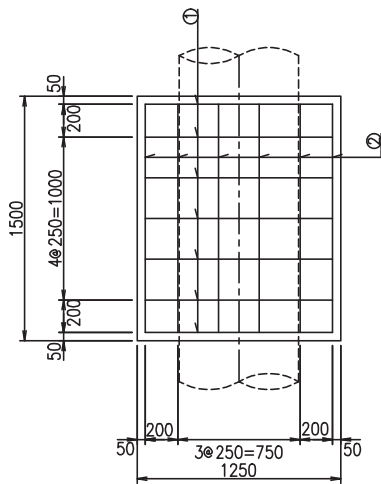
断面図



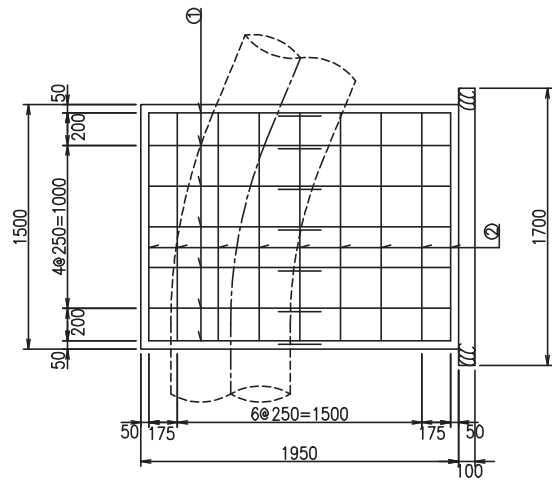
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に振圧すること。  
 2. 地盤が不均等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講ずること。

22 1/2° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ700 (単位:mm)

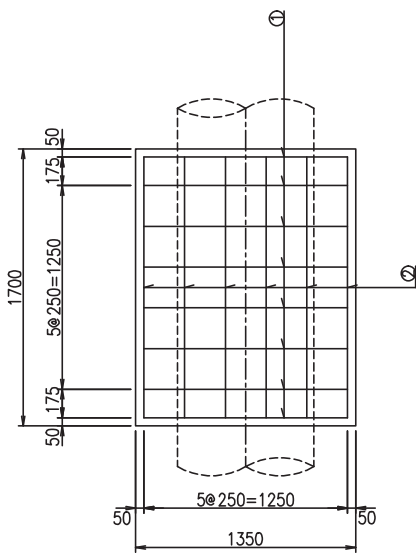
平面図



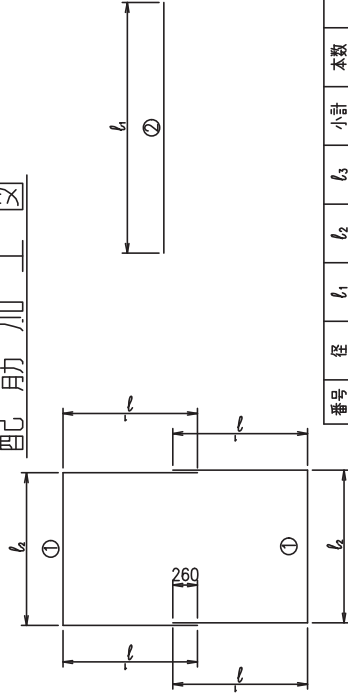
側面図



平面図

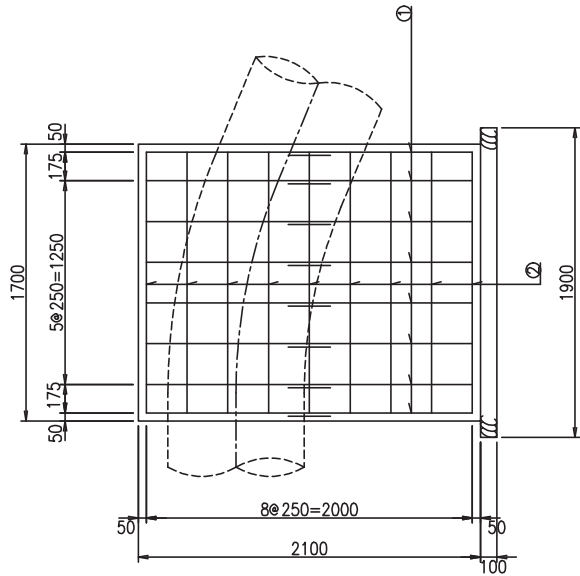


配筋加工図

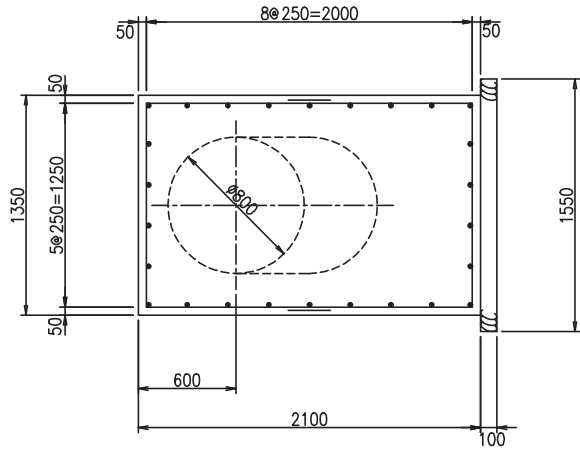


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	1,130	1,250		3,510	16	56,160	
②	D13	1,600			1,600	26	41,600	
ΣL= 97,760 mm							ΣW=	97 kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )								3.85
砕石面積 (m <sup>2</sup> )								2.95
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								11.71

側面図



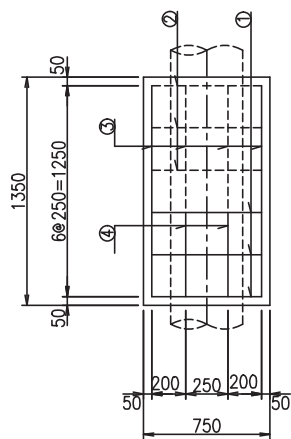
断面図



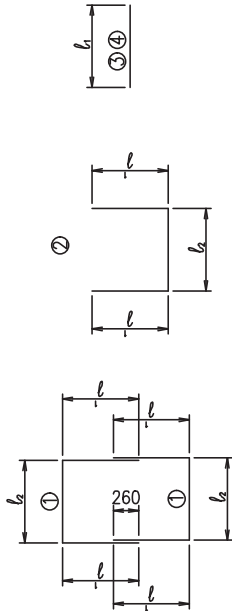
(注) 1. 砕石は敷を均し後、十分に密圧すること。  
 2. 地盤が不均等で、十分な抵抗力が期待できないときは、基礎等による不同沈下対策を講ずること。

22 1/2° 垂直上向曲管  
 保護コンクリート  
 φ800 (単位:mm)

平面図

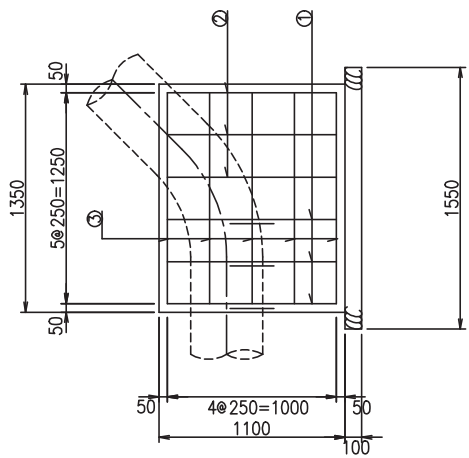


配筋加工図

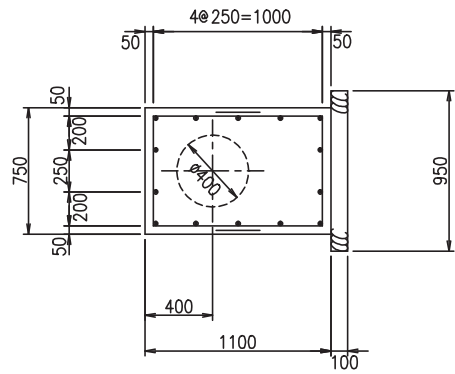


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計	
①	D13	630	650		1,910	6	11,460	
②	D13	1,000	650		2,650	3	7,950	
③	D13	1,250			1,250	12	15,000	
④	D13	500			500	2	1,000	
ΣL= 35,410 mm							ΣW=	35 kg
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )								0.93
除石面積 (m <sup>2</sup> )								1.47
型枠面積 (m <sup>2</sup> )								4.32

側面図



断面図

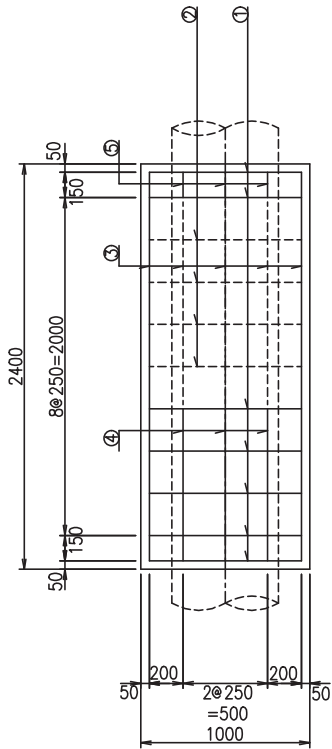


(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に碾压すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎筋等による不同沈下対策を講じること。

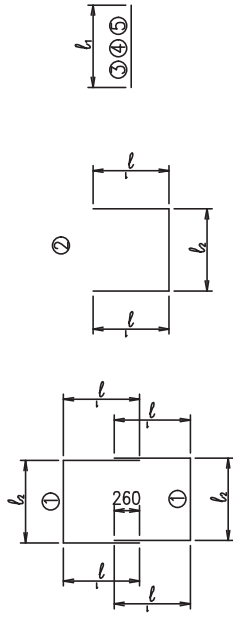
45° 垂直下向曲管  
 保護コンクリート  
 φ400 (単位:mm)



平面図

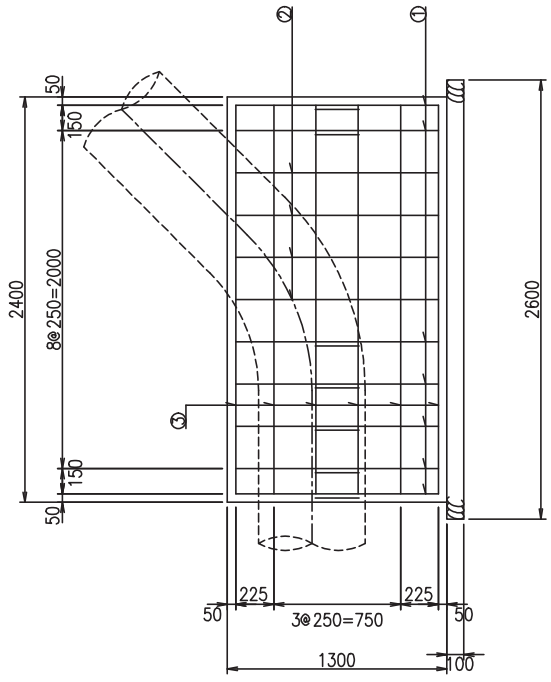


配筋加工図

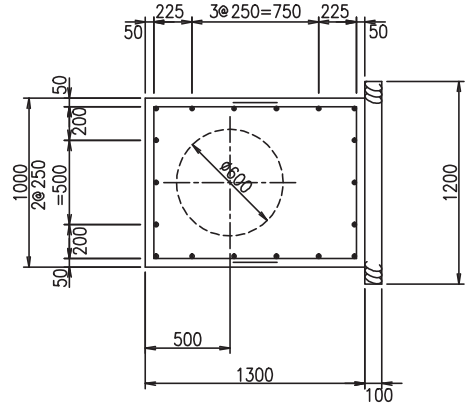


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	730	900		2,360	14	33,040
②	D13	1,200	900		3,300	4	13,200
③	D13	2,300			2,300	15	34,500
④	D13	900			900	3	2,700
⑤	D13	150			150	3	450
ΣL= 83,890 mm					ΣW=	83 kg	
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )						2.53	
砕石面積 (m <sup>2</sup> )						3.12	
型枠面積 (m <sup>2</sup> )						8.22	

側面図



断面図

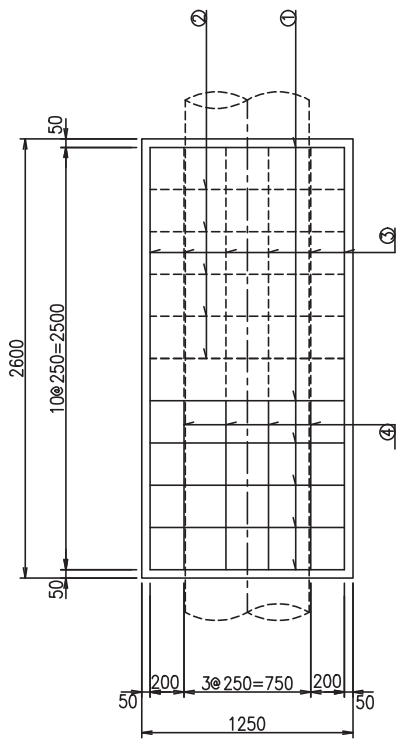


(注) 1. 砕石は動き均し後、十分に圧圧すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な地力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

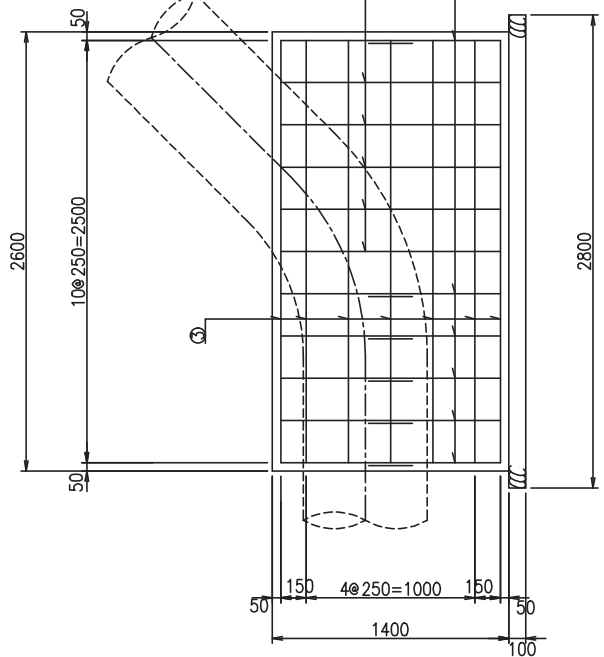
45° 垂直下向曲管  
 保護コンクリート

φ 600  
 (単位mm)

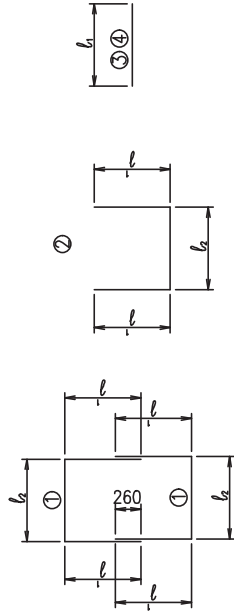
平面図



側面図

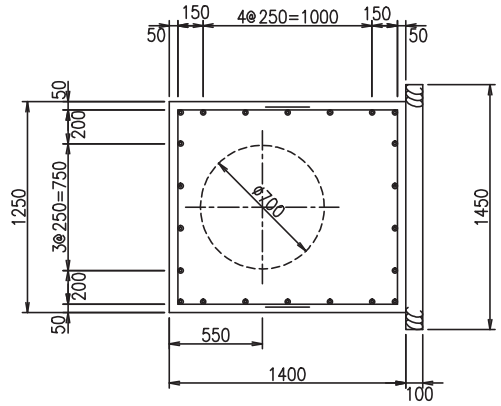


配筋加工図



番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	780	1,150		2,710	12	32,520
②	D13	1,300	1,150		3,750	5	18,750
③	D13	2,500			2,500	18	45,000
④	D13	1,000			1,000	4	4,000
		ΣL= 100,270 mm			ΣW= 100 kg		
		コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )			3.68		
		砕石面積 (m <sup>2</sup> )			4.06		
		型枠面積 (m <sup>2</sup> )			9.94		

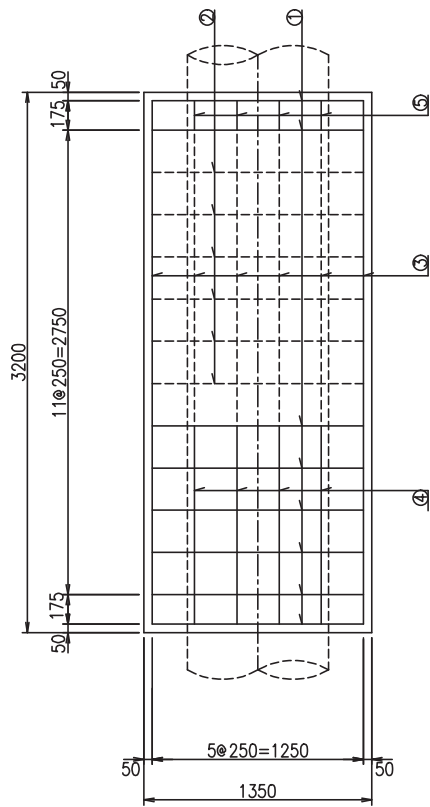
断面図



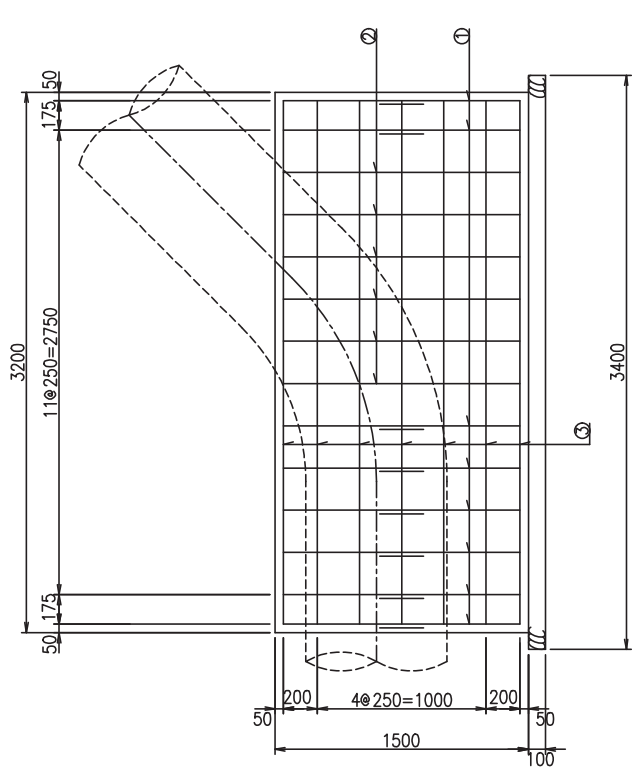
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に圧縮すること。  
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎積等による不同沈下対策を講じること。

45° 垂直下向曲管  
保護コンクリート  
φ 700 (単位mm)

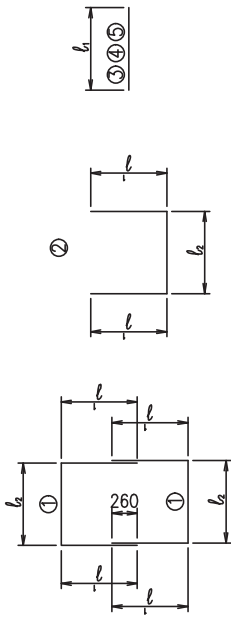
平面図



側面図

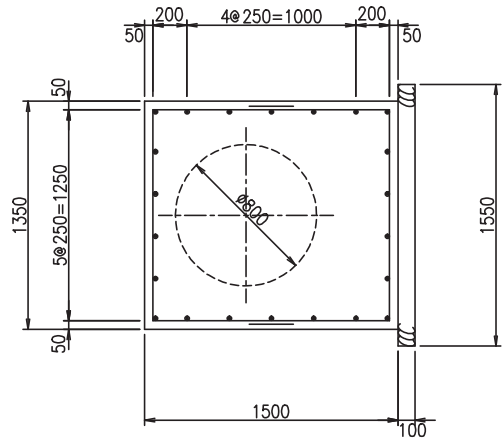


配筋加工図



番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	830	1,250		2,910	16	46,560
②	D13	1,400	1,250		4,050	6	24,300
③	D13	3,100			3,100	18	55,800
④	D13	1,175			1,175	4	4,700
⑤	D13	175			175	4	700
		ΣL= 132,060 mm			ΣW=	131 kg	
		コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )				5.13	
		砕石面積 (m <sup>2</sup> )				5.27	
		型枠面積 (m <sup>2</sup> )				12.55	

断面図

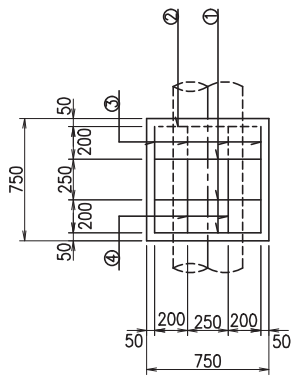


(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

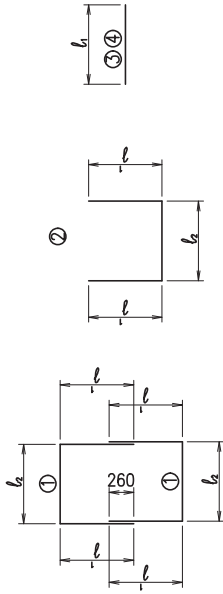
45° 垂直下向曲管  
 保護コンクリート  
 φ800 (単位mm)



平面図

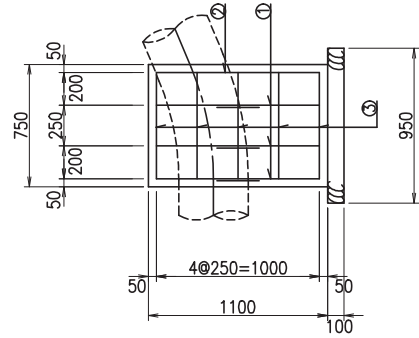


配筋加工図

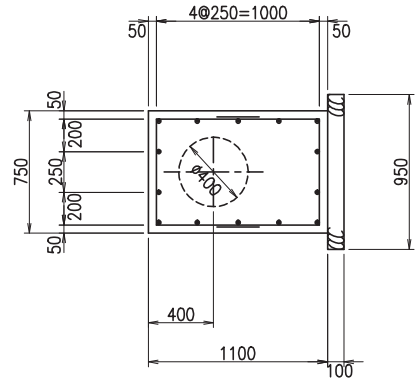


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	630	650		1,910	6	11,460
②	D13	1000	650		2,650	1	2,650
③	D13	650			650	12	7,800
④	D13	450			450	2	900
		ΣL= 22,810 mm			ΣW= 23 kg		
		コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )				0.45	
		砕石面積 (m <sup>2</sup> )				0.90	
		型枠面積 (m <sup>2</sup> )				3.00	

側面図



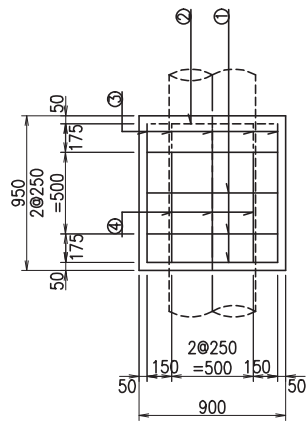
断面図



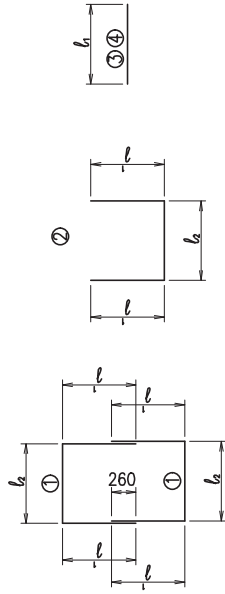
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に圧すること。  
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不均沈下対策を講じること。

22 1/2° 垂直下向曲管  
 保護コンクリート  
 φ400 (単位:mm)

平面図

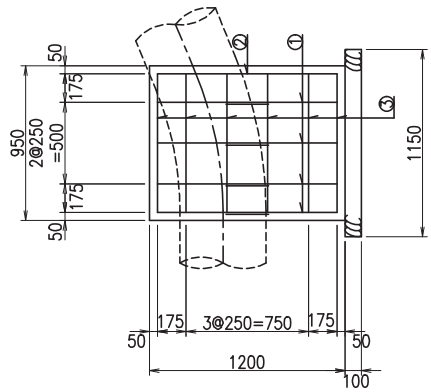


配筋加工図

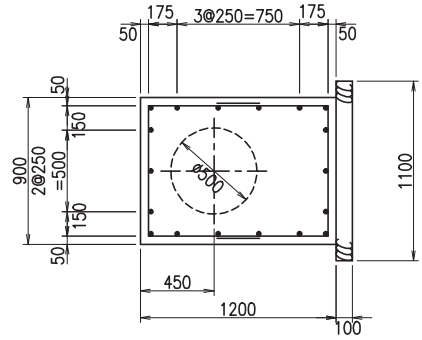


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	680	800		2,160	8	17,280
②	D13	1100	800		3,000	1	3,000
③	D13	850			850	15	12,750
④	D13	675			675	3	2,025
ΣL= 35,055 mm					ΣW=	35 kg	
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )					0.72		
砕石面積 (m <sup>2</sup> )					1.27		
型枠面積 (m <sup>2</sup> )					4.00		

側面図



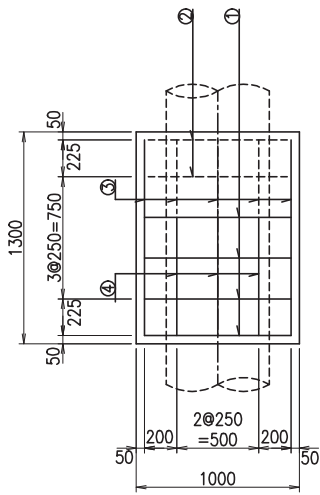
断面図



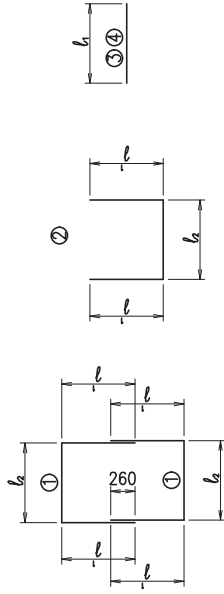
(注) 1. 砕石は振き均し後、十分に碾压すること。  
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

22 1/2° 垂直下向曲管  
保護コンクリート  
φ500 (単位:mm)

平面図

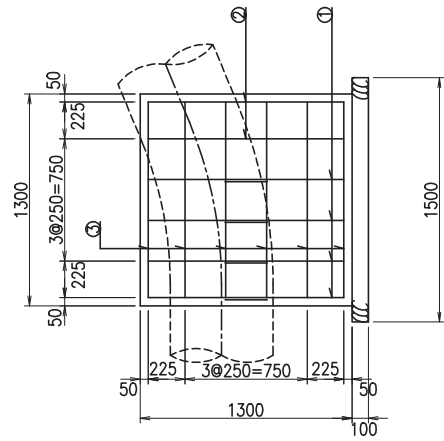


配筋加工図

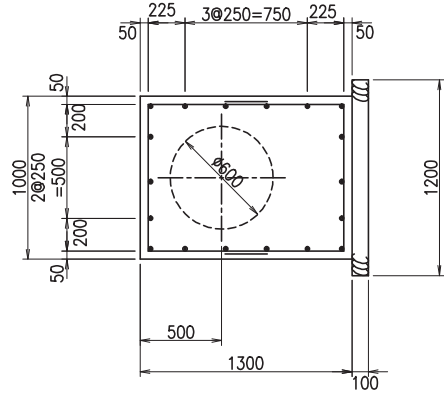


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	730	900		2,360	8	18,880
②	D13	1,200	900		3,300	2	6,600
③	D13	1,200			1,200	15	18,000
④	D13	725			725	3	2,175
ΣL= 45,655 mm					ΣW=	45 kg	
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )						1.16	
砕石面積 (m <sup>2</sup> )						1.80	
型枠面積 (m <sup>2</sup> )						5.36	

側面図



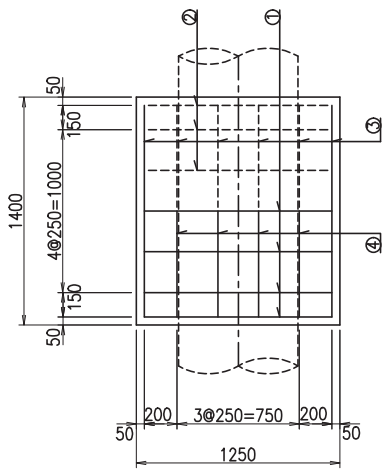
断面図



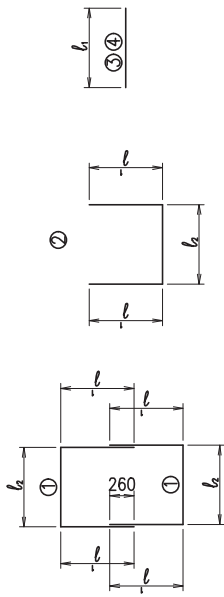
(注) 1. 砕石は振き均し後、十分に振圧すること。  
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講ずること。

22 1/2° 垂直下向曲管  
保護コンクリート  
φ600 (単位:mm)

平面図

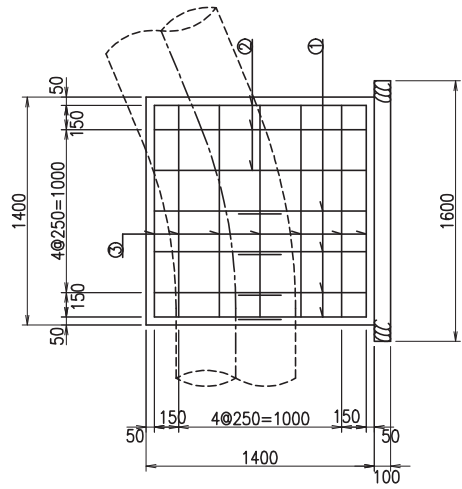


配筋加工図

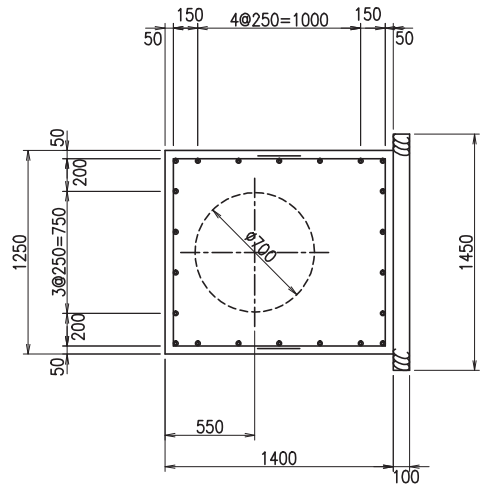


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	780	1,150		2,710	8	21,680
②	D13	1,300	1,150		3,750	3	11,250
③	D13	1,300			1,300	18	23,400
④	D13	650			650	4	2,600
ΣL=		58,930 mm			ΣW=	59 kg	
		コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )				1.66	
		砕石面積 (m <sup>2</sup> )				2.32	
		型枠面積 (m <sup>2</sup> )				6.58	

側面図



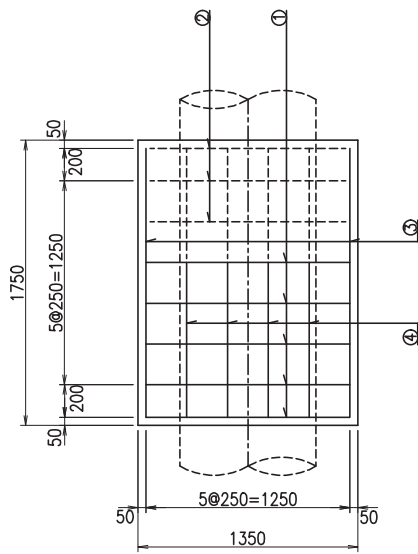
断面図



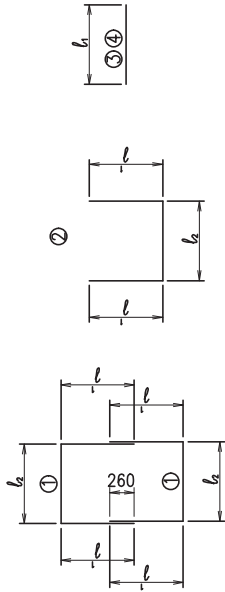
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に圧すること。  
2. 地盤が不良等で、十分な地盤力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

22 1/2° 垂直下向曲管  
保護コンクリート  
φ700 (単位:mm)

平面図

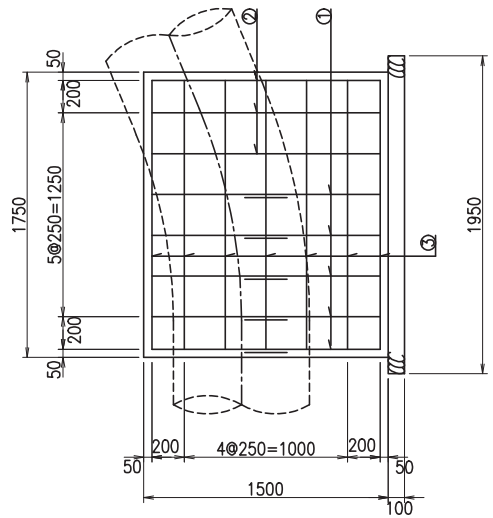


配筋加工図

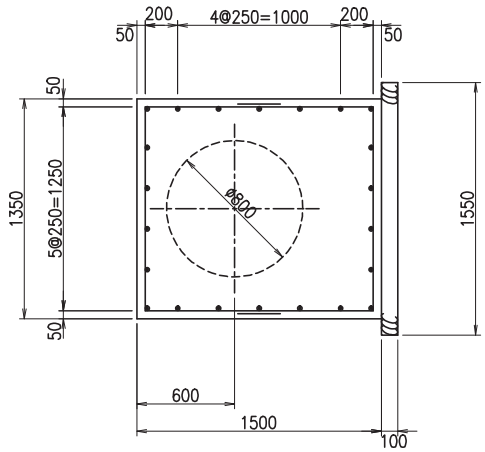


番号	径	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	小計	本数	計
①	D13	830	1,250		2,910	10	29,100
②	D13	1,400	1,250		4,050	3	12,150
③	D13	1,650			1,650	18	29,700
④	D13	950			950	4	3,800
ΣL= 74,750mm					ΣW=	74 kg	
コンクリート体積 (m <sup>3</sup> )					2.36		
砕石面積 (m <sup>2</sup> )					3.02		
型枠面積 (m <sup>2</sup> )					8.20		

側面図



断面図



(注) 1. 砕石は敷き初め後、十分に転圧すること。  
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

22 1/2° 垂直下向曲管  
保護コンクリート  
φ800 (単位:mm)